

[様式 2]

提案書	
技術分野	⑤
提案件名	アスファルト系材料を用いた法面フェーシングによる浸透水抑制技術
提案者	株式会社大林組、関西電力株式会社

1. 技術等の概要（特徴、仕様、性能、保有者など）

(1) 特徴

- ・ 本提案技術は、海拔 10m エリアと海拔 35m エリア間の法面部からの雨水浸透を防止するためのアスファルト系材料現場吹付け遮水シートによるフェーシング技術である。
- ・ 吹付けによる遮水工法のため、連続した水密性のある継ぎ目なしの均質な遮水層を形成できる。
- ・ ゴムアスファルトと特殊構造の合成繊維基布の組合せにより高強度・高伸度で、均一な厚さの遮水層を形成できる。
- ・ 下地の凹凸によくなじみ、密着した遮水層を形成できる。
- ・ 吹付け材の硬化時間を制御できることで、施工時間を容易に管理できる。
- ・ 火気、溶剤を使用しない工法であり、防護服に引火することなく、安全で無公害な工法である。

(2) 仕様

- ・ 浸透性の良い緩結型浸透性ゴムアスファルトエマルジョンを厚さ 3mm 以上の合成繊維基布(材質ポリエステル 100%)の上から吹付けることにより、内部に含浸充填され、モルタルやコンクリートなどの下地にも固着する (図-1)。
- ・ 表面にアクリル系トップコートを吹付けることにより紫外線劣化から保護する。

(3) 性能

- ・ 適用する吹付けフェーシングは、通常、最終処分場の現場吹付け遮水シート工法として使用しているもの(透水係数 $k < 1.0 \times 10^{-11} \text{m/s}$) であり、「廃棄物最終処分場整備の計画・設計・監理要領 2010 改定版」に示された遮水シート基本特性等を満足する (表-1)。

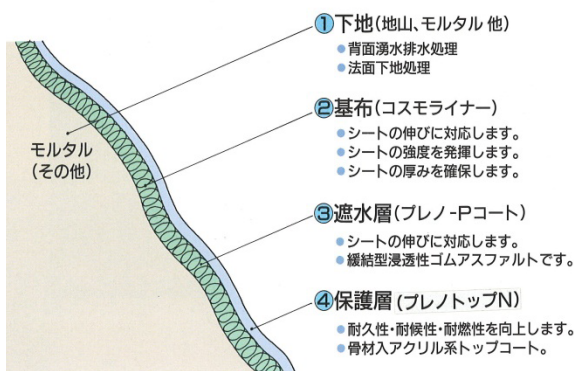


図-1 吹付け遮水シートの構成

表-1 吹付け遮水シート性能

項目	性能
厚み	4.0mm 以上
引張強さ	100N/cm 以上
伸び率	170%以上
引裂き強さ	250N/cm

(4) 施工手順例



①法面部への基布の敷設



②基布へのゴムアスファルトの吹付け



③吹付けシート表面への保護層の吹付け



④法面凹凸部への施工状況

(5) 保有者

大林組で開発し、適用している。

2. 備考

- ・ 開発・実用化の状況（国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む）
国内の一般廃棄物最終処分場や人工池等の遮水シートとしての適用（施工済、施工中）
実績：70件以上
- ・ 開発・実用化に向けた課題・留意点
水分が多い場所では、法面の湧水対策を行う。
紫外線劣化を防止するための保護層は機能維持のため、3年/1回の頻度でトップコートの再吹付けを行う。
- ・ その他（特許等を保有している場合の参照情報等）
添付資料「現場吹付け遮水シート工法 プレノ-Fシート工法」